



2023年10月2日

ケイアイスター不動産株式会社向けサステナビリティ・リンク・ローンの取組みについて

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2023年9月29日（金）、ケイアイスター不動産株式会社（代表取締役 堀 圭二、以下「ケイアイスター不動産」）のサステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク（以下「SLLフレームワーク」）制定にあたり、サステナビリティ・コーディネーター^{※1}として策定支援を行うとともに、本SLLスキームに基づくサステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）を取り組みましたのでお知らせします。

■今回のSLLフレームワークについて

SLLは、金利条件等の貸付条件と、融資先のSDGs・ESG戦略におけるサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）に対する評価を連動させ、その達成状況に応じて、融資先にインセンティブやディスインセンティブが発生することで、持続可能な経済活動および経済成長を促進し、継続的に支援することを目的としています。今回のSLLフレームワークは、ケイアイスター不動産のSPTs達成に向けた取組みを支援する金融機関が追加で参加できる枠組みです。今後も他の金融機関が、同社に対しSLLを取り組む際の枠組みとして本SLLフレームワークを活用することにより、その輪を広げていくことが可能となります。

今回、同社は、販売棟数あたりのGHG排出量削減についてのSPTsを設定し、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国際的な原則である「サステナビリティ・リンク・ローン原則」等へ適合している旨のセカンドオピニオン^{※2}を取得しました。

※1 サステナビリティ・リンク・ローン商品の組成・設計にあたって、借り手のSPTs（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット）設定等を支援する役割。

※2 株式会社格付投資情報センター（R&I）による第三者意見
（URL：<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/sustainabilityfinance/index.html>）

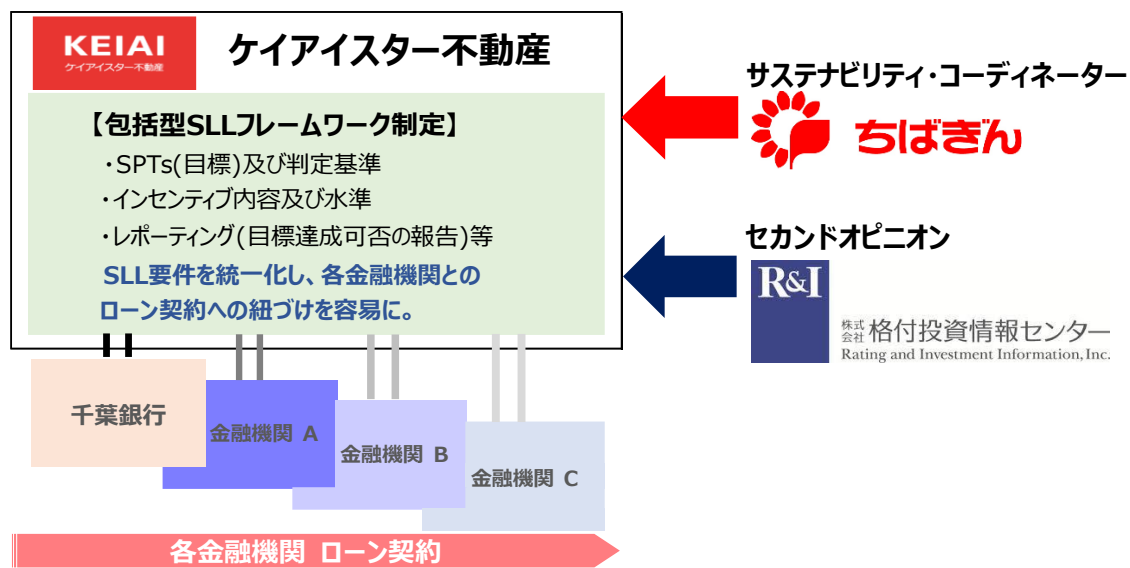
■ケイアイスター不動産株式会社について

ケイアイスター不動産は、「高品質、だけど低価格なデザイン住宅」の供給を基本方針として、首都圏を中心に全国各地で戸建分譲事業を展開しています。『豊かで楽しく快適な暮らしの創造をめざす、「豊・楽・快（ゆ・た・か）」創造企業』を経営理念に掲げ、住宅を購入したお客さまのみならず、不動産仲介会社や協力工務店などの地域のパートナーの皆さま、従業員、そして株主の皆さまと持続的に発展・共存し、ともに「豊・楽・快」な未来を実現していくことを目指しています。環境保全の面においても従来、自社のCO₂排出量の抑制や、製造時・輸送過程においてCO₂排出量が少ないとされる国産木材を活用した分譲住宅の企画・推進・販売等の取組みを進めています。

当行は、「一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする」をパーパスに掲げ、地域の社会的課題解決に貢献するなど社会的価値を提供し、地域に寄り添うエンゲージメントバンクグループを目指します。

以上

【スキーム図】



【サステナビリティ・リンク・ローン概要】

借入人	ケイアイスター不動産株式会社
サステナビリティ・コーディネーター兼貸付人	千葉銀行
実行日	2023年9月29日(金)
融資金額	1,000百万円
SPTs	販売棟数あたりのGHG排出量削減
インセンティブ	SPTs達成状況に応じた金利優遇
第三者意見	株式会社格付投資情報センター